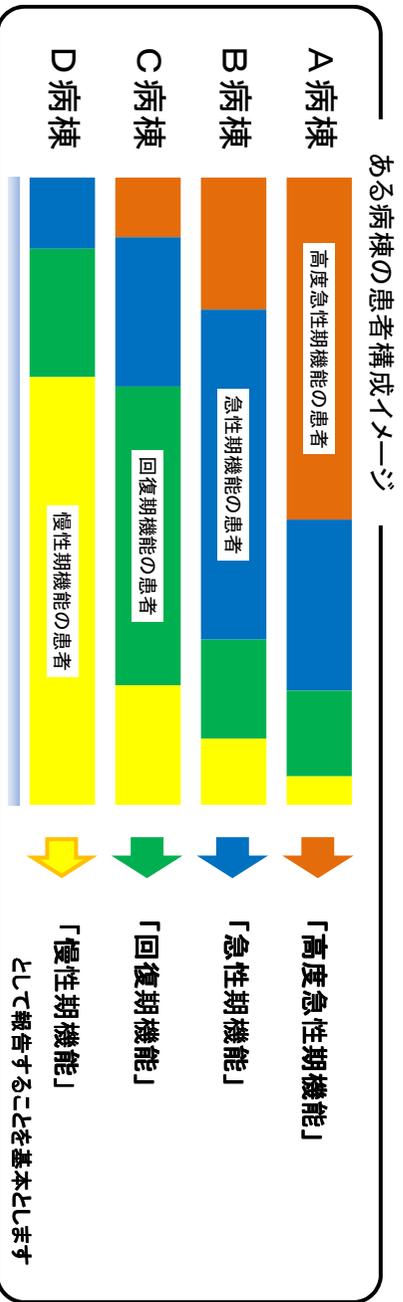


病床機能報告における各医療機能の定義

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	<ul style="list-style-type: none"> ○急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能 ※高度急性期機能に該当すると考えられる病棟の例 救命救急病棟、集中治療室、ハイケアユニット、新生児集中治療室、新生児治療回復室、小児集中治療室、総合産科集中治療室であるなど、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟
急性期機能	○急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	<ul style="list-style-type: none"> ○急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 ○特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能(回復期リハビリテーション機能)
慢性期機能	<ul style="list-style-type: none"> ○長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○長期にわたり療養が必要な患者の障がい者(重度の意識障がい者を含む)、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能)



1

平成29年度病床機能報告結果

現状 (平成29年 7月 1日時点)

構想区域	全体病床数	病床機能別内訳				
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
宇摩	1,024床	10床	488床	133床	323床	70床
新居浜・西条	2,817床	40床	1,395床	392床	843床	147床
今治	2,323床	23床	1,389床	176床	706床	29床
松山	8,869床	1,018床	4,030床	1,200床	2,401床	220床
八幡浜・大洲	1,804床	0床	1,003床	235床	524床	42床
宇和島	1,978床	30床	1,082床	168床	564床	134床

6年後(2023年)の予定(平成29年7月1日時点)

構想区域	全体病床数	病床機能別内訳						休棟等	介護保険施設等
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期				
宇摩	1,024床	107床	346床	178床	250床	89床	54床		
新居浜・西条	2,817床	40床	1,348床	461床	817床	78床	73床		
今治	2,323床	23床	1,356床	157床	624床	105床	58床		
松山	8,869床	1,063床	3,658床	1,575床	2,118床	371床	84床		
八幡浜・大洲	1,804床	0床	973床	276床	511床	44床	0床		
宇和島	1,978床	30床	1,082床	168床	500床	153床	45床		

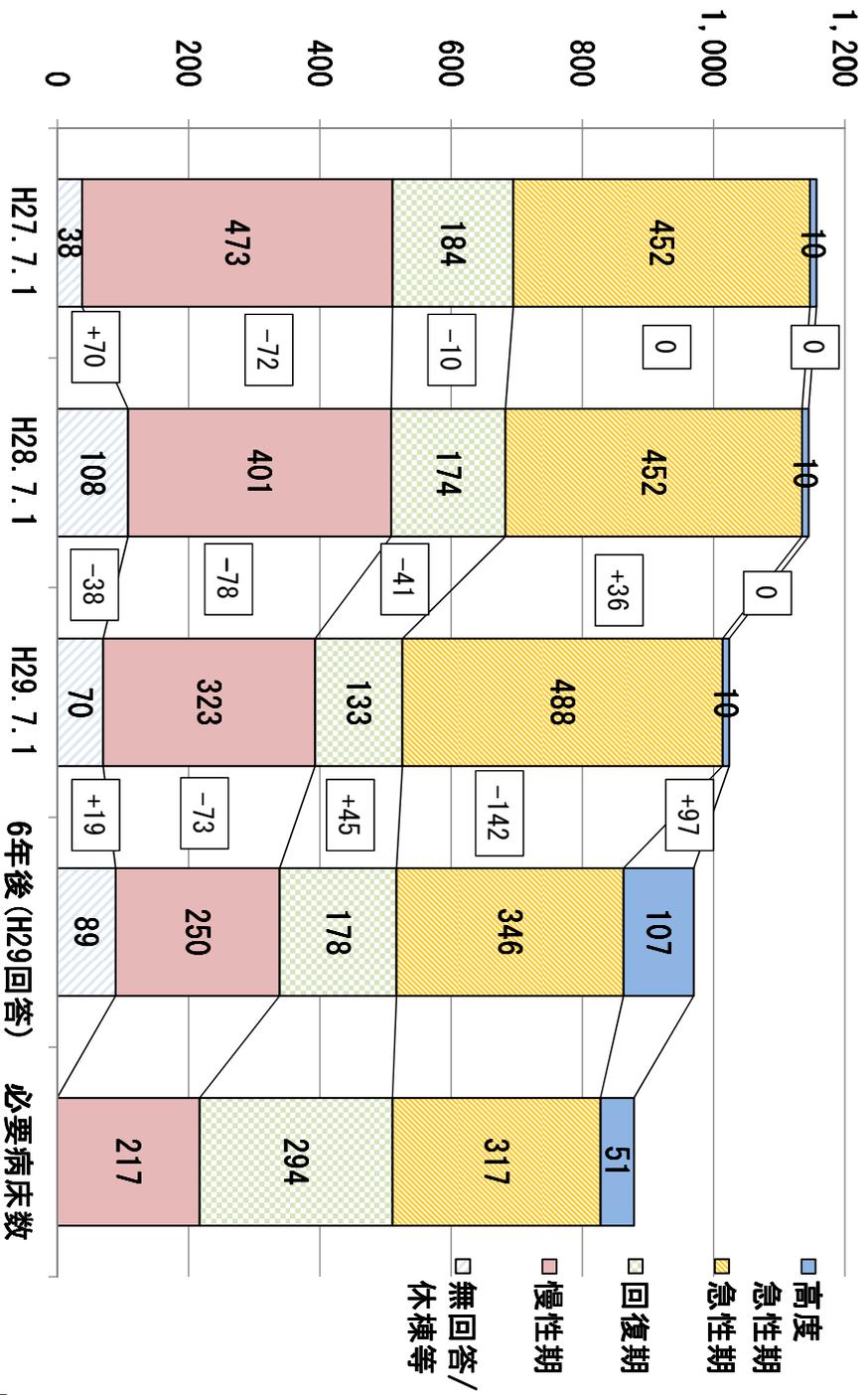
3

2025年における必要病床数推計値(地域医療構想)

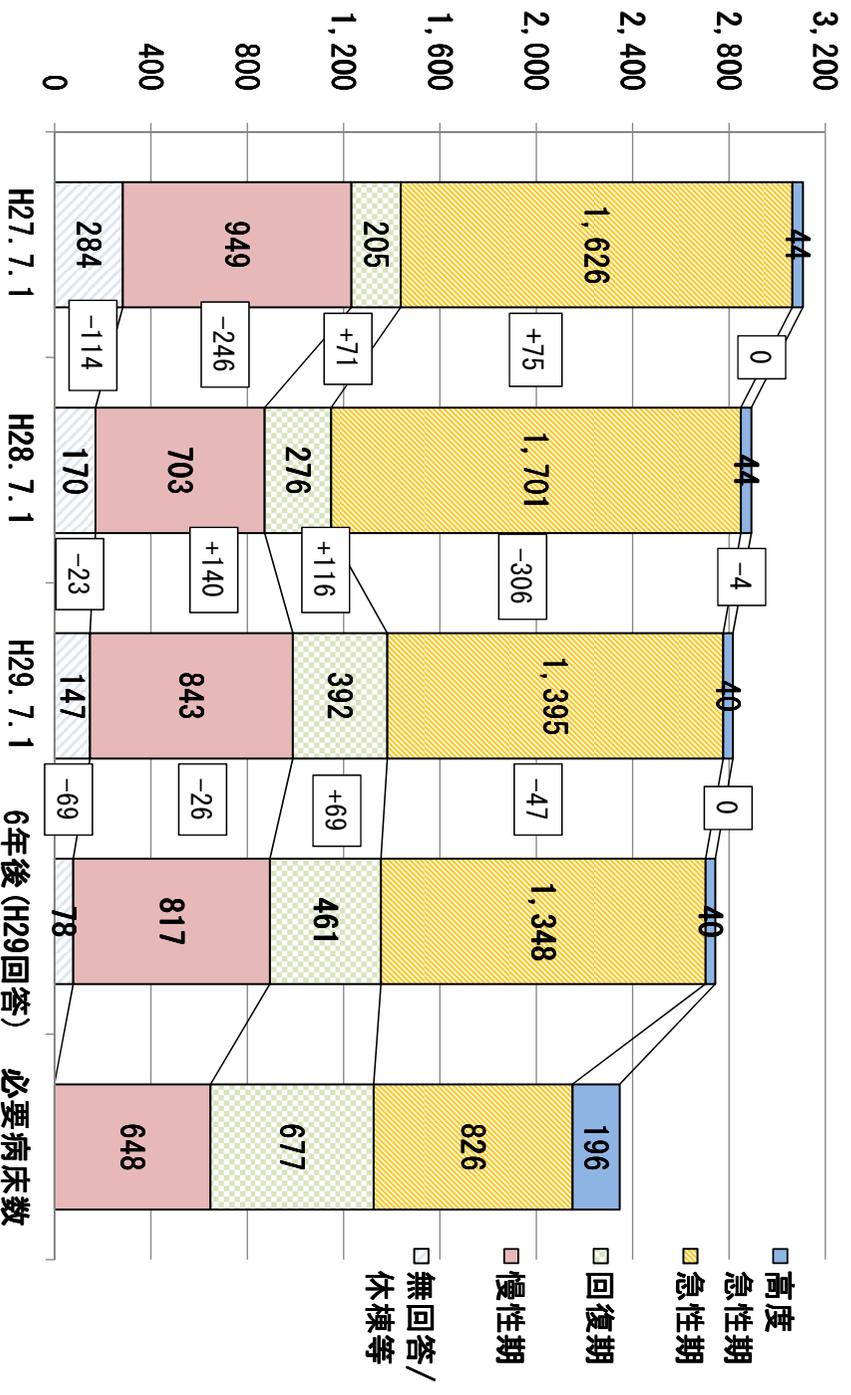
構想区域	全体病床数	病床機能別内訳				※参考 医療計画上の 基準病床(療 養及び一般病 床)
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
宇摩	879床	51床	317床	294床	217床	720床
新居浜・西条	2,347床	196床	826床	677床	648床	1,859床
今治	1,939床	119床	682床	708床	430床	1,510床
松山	6,679床	781床	1,995床	2,067床	1,836床	6,300床
八幡浜・大洲	1,681床	59床	486床	693床	443床	1,394床
宇和島	1,297床	120床	418床	454床	305床	1,259床

4

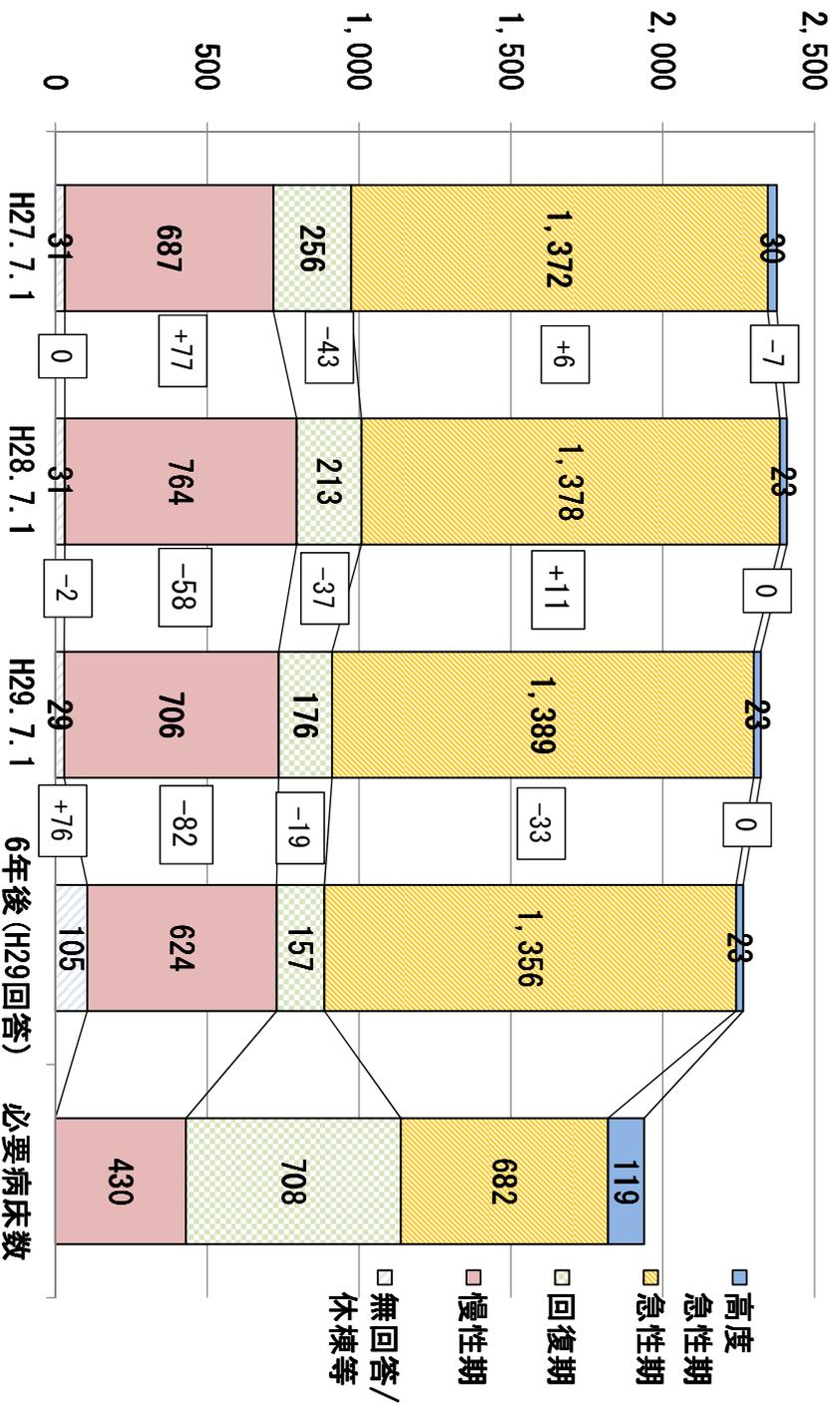
宇摩構想区域



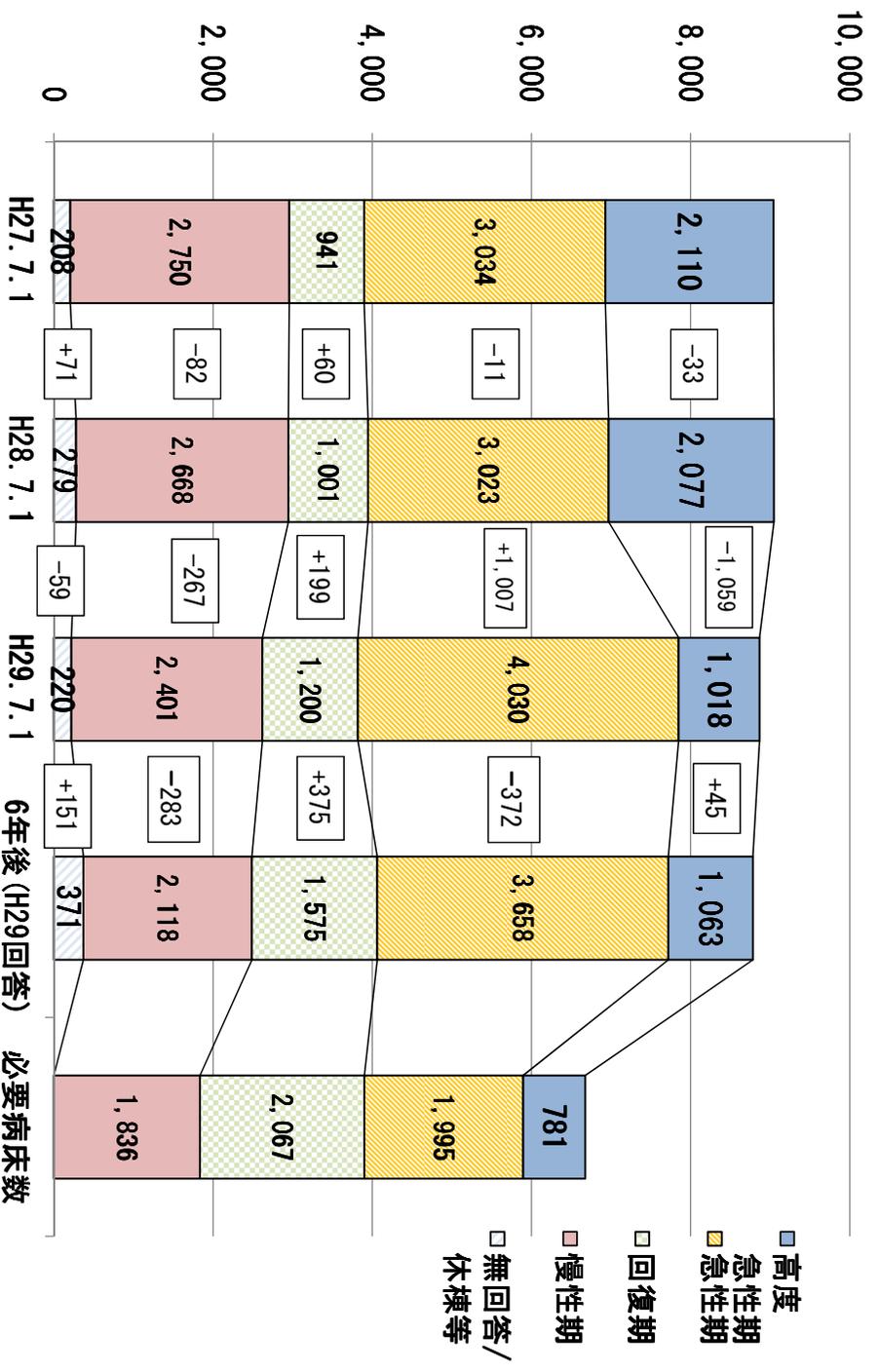
新居浜・西条構想区域



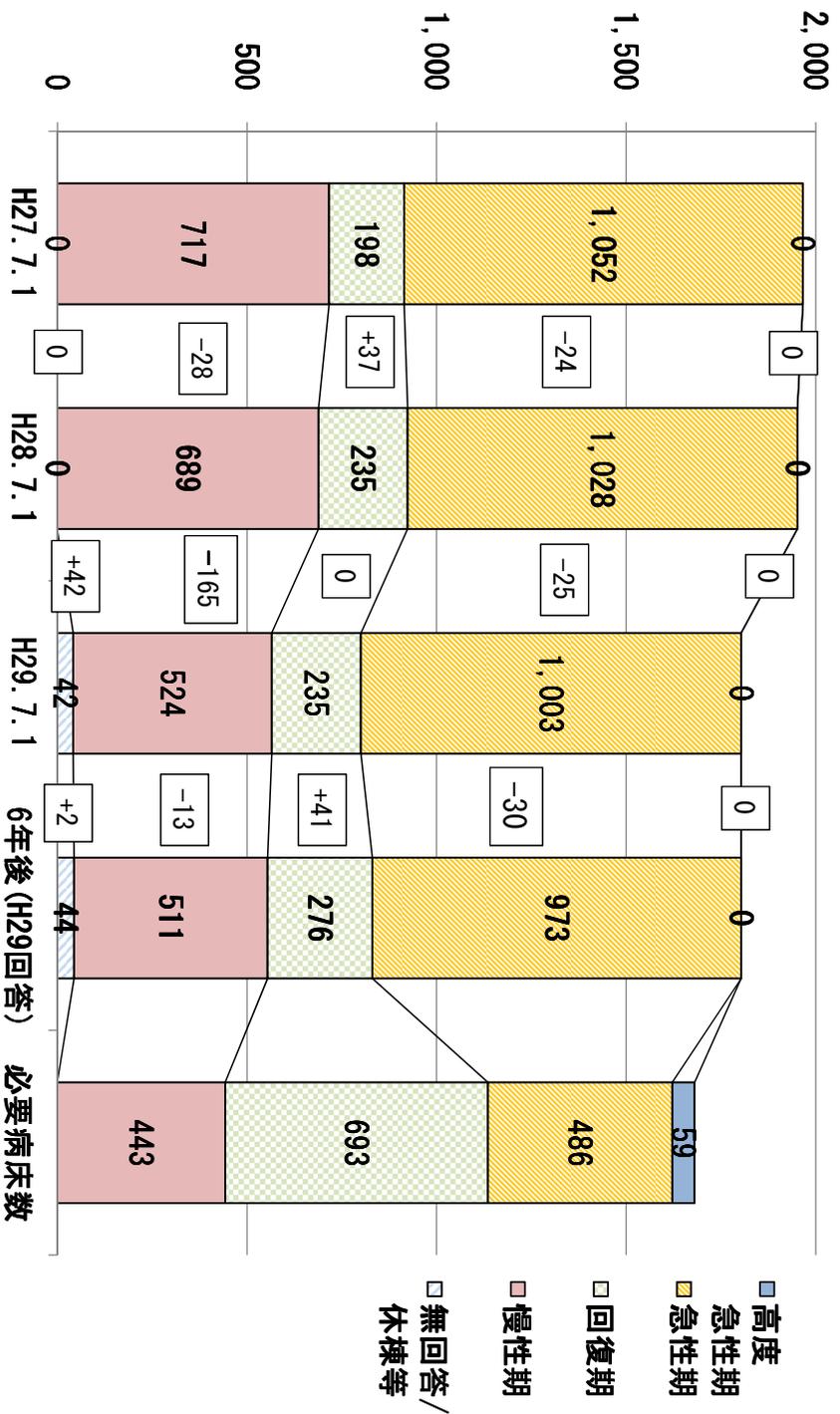
今治構想区域



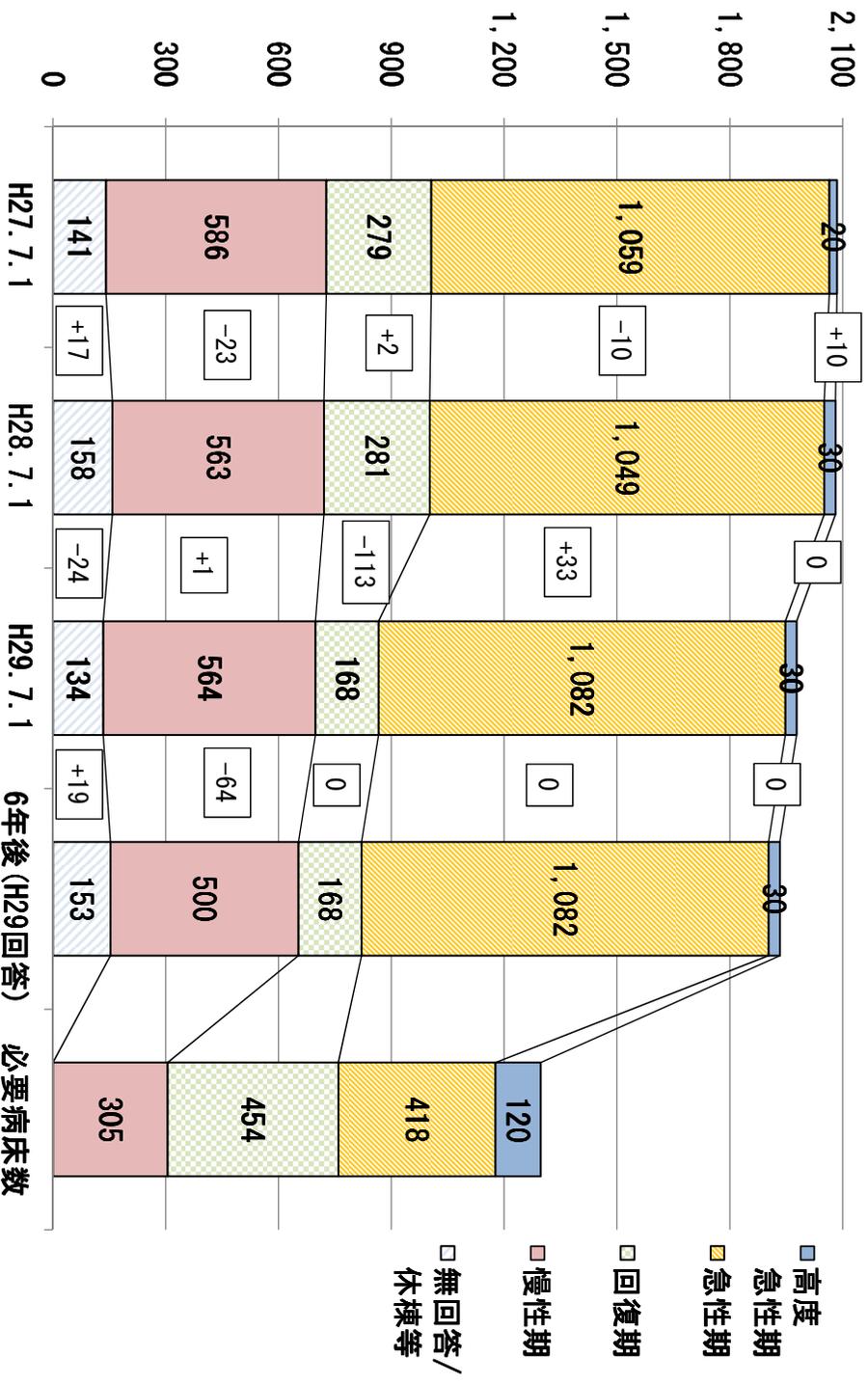
松山構想区域



八幡浜・大洲構想区域



宇和島構想区域



診療実績との関係性等について

(平成29年7月1日時点)

構想区域	対象病院数	1機能のみ				2機能の組合せ					3機能の組合せ			全機能	休棟		
		高度急性期のみ	急性期のみ	回復期のみ	慢性期のみ	高+急	高+回	高+慢	急+回	急+慢	回+慢	高+急+回	高+急+慢			高+回+慢	急+回+慢
宇摩	9	0	2	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1
新居浜・西条	18	0	1	0	6	1	0	0	1	3	0	2	0	0	4	0	0
今治	29	0	9	1	9	2	0	0	1	6	0	0	0	0	1	0	0
松山	45	0	12	1	10	5	0	0	3	7	5	1	0	0	1	0	0
八幡浜・大洲	13	0	3	1	3	0	0	0	1	3	0	0	0	0	2	0	0
宇和島	11	0	2	0	3	1	0	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0
合計	125	0	29	3	34	9	0	0	7	23	6	3	0	0	9	1	1

1つの機能のみを選択した病院は、急性期と慢性期が多い。(回復期に特化して報告した病院は少ない)

2つの機能の組合せは、急性期と慢性期の組み合わせが多い。

3つ以上の機能の組合せでは、高度急性期以外の機能を報告した病院が多いが、幅広い機能を報告した病院は全体からみると少ない。

11

医療機能ごとにみた具体的な医療の内容 (実施レポート件数)

宇摩構想区域

※平成29年6月病院診療分

機能区分	病棟数	手術総数	全身麻酔の手術総数	人工心肺を用いた手術	胸腔鏡下手手術	腹腔鏡下手手術	悪性腫瘍手術	放射線治療	化学療法	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	認知症ケア加算	ハイリスク分室管理加算	救急医療管理1加算	救急医療管理2加算	在宅患者緊急入院診療加算	退院支援加算1	退院支援加算2	
高度急性期	1	45	27	0	1	6	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	
急性期	10	148	57	0	0	6	11	3	22	0	7	0	0	249	0	56	0	0	
回復期	3	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	26	0	0
慢性期	7	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0

機能区分	病棟数	疾患別リハビリテーション料	心大血管疾患リハビリテーション料	血管疾患等リハビリテーション料	廃用症候群リハビリテーション料	運動器リハビリテーション料	呼吸器リハビリテーション料	障害児(者)リハビリテーション料	がん患者リハビリテーション料	摂食機能療法	難病等特別入院診療加算	特殊疾患入院施設管理加算	超準重症児入院診療加算	強度行動障害入院医療管理加算
高度急性期	1	24	3	14	1	0	6	0	0	6	0	0	0	0
急性期	10	395	14	67	33	224	56	0	2	84	2	0	0	0
回復期	3	107	0	58	7	41	1	0	0	55	0	0	0	0
慢性期	7	73	0	16	15	42	2	0	0	9	0	0	0	0

医療機能ごとにみた具体的な医療の内容（実施レセプト件数）

新居浜・西条構想区域

※平成29年6月病院診療分

機能区分	病棟数	手術総数	全身麻酔の手術総数	人工心肺を用いた手術	胸腔鏡下手術	腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	放射線治療	化学療法	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	認知症ケア加算	ハイリスク分室入院施設管理加算	救急医療管理1入院診療加算及び2	在宅患者緊急入院診療加算	退院支援加算1	退院支援加算2
高度急性期	7	121	91	0	7	26	26	0	0	0	15	8	0	6	0	0	0
急性期	33	768	174	0	0	17	45	10	104	0	34	171	2	786	3	161	348
回復期	9	43	2	0	0	0	0	0	1	0	0	36	0	0	0	43	0
慢性期	19	12	0	0	0	0	0	0	4	0	0	35	0	0	0	2	4

機能区分	病棟数	疾患別リハビリテーション料	心大血管疾患リハビリテーション料	血管疾患等リハビリテーション料	廃用症候群リハビリテーション料	運動器リハビリテーション料	呼吸器リハビリテーション料	障害児(者)リハビリテーション料	がん患者リハビリテーション料	摂食機能療法	難病等特別入院診療加算	特殊疾患入院施設管理加算	超準重症児入院診療加算	強度行動障害入院医療管理加算
高度急性期	7	20	0	7	9	3	0	0	1	5	0	0	0	0
急性期	33	960	50	202	200	398	42	0	80	90	5	5	0	1
回復期	9	187	0	92	5	94	0	0	0	18	0	0	0	0
慢性期	19	516	0	228	106	143	39	0	1	97	0	159	31	0

13

医療機能ごとにみた具体的な医療の内容（実施レセプト件数）

今治構想区域

※平成29年6月病院診療分

機能区分	病棟数	手術総数	全身麻酔の手術総数	人工心肺を用いた手術	胸腔鏡下手術	腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	放射線治療	化学療法	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	認知症ケア加算	ハイリスク分室入院施設管理加算	救急医療管理1入院診療加算及び2	在宅患者緊急入院診療加算	退院支援加算1	退院支援加算2
高度急性期	4	72	61	4	3	5	18	0	0	1	4	0	0	2	0	0	1
急性期	30	503	101	1	3	26	23	16	59	0	30	31	8	276	1	48	74
回復期	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
慢性期	18	32	3	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0

機能区分	病棟数	疾患別リハビリテーション料	心大血管疾患リハビリテーション料	血管疾患等リハビリテーション料	廃用症候群リハビリテーション料	運動器リハビリテーション料	呼吸器リハビリテーション料	障害児(者)リハビリテーション料	がん患者リハビリテーション料	摂食機能療法	難病等特別入院診療加算	特殊疾患入院施設管理加算	超準重症児入院診療加算	強度行動障害入院医療管理加算
高度急性期	4	22	8	10	2	2	1	0	0	2	0	0	0	0
急性期	30	873	37	132	154	423	118	0	24	54	11	0	2	0
回復期	3	125	0	51	8	66	0	0	0	3	0	0	0	0
慢性期	18	238	0	90	18	136	3	0	0	3	0	0	6	0

14

医療機能ごとにみた具体的な医療の内容（実施レセプト件数）

松山構想区域

※平成29年6月病院診療分

機能区分	病棟数	手術総数	全身麻酔の手術総数	人工心肺を用いた手術	胸腔鏡下手術	腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	放射線治療	化学療法	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	認知症ケア加算	ハイリスク分室管理加算	救急医療管理1及び2	在宅患者緊急入院診療加算	退院支援加算1	退院支援加算2
高度急性期	39	1,262	667	22	62	175	233	42	283	6	73	30	10	257	0	148	36
急性期	70	1,983	639	0	6	110	187	172	537	0	28	424	23	1,302	10	454	200
回復期	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	121	0	0	1	148	0
慢性期	47	19	4	0	0	0	0	0	5	0	0	210	0	0	1	13	24

機能区分	病棟数	疾患別リハビリテーション料	心大血管疾患リハビリテーション料	血管疾患等リハビリテーション料	廃用症候群リハビリテーション料	運動器リハビリテーション料	呼吸器リハビリテーション料	障害児(者)リハビリテーション料	がん患者リハビリテーション料	摂食機能療法	難病等特別入院診療加算	特殊疾患入院施設管理加算	超準重症児入院診療加算	強度行動障害入院医療管理加算
高度急性期	39	506	142	121	12	161	49	0	32	52	6	0	0	0
急性期	70	2,245	128	606	184	994	249	0	125	160	54	0	6	0
回復期	19	765	0	400	17	348	4	0	1	81	3	0	1	0
慢性期	47	1138	1	530	87	431	28	67	4	232	0	755	140	0

15

医療機能ごとにみた具体的な医療の内容（実施レセプト件数）

八幡浜・大洲構想区域

※平成29年6月病院診療分

機能区分	病棟数	手術総数	全身麻酔の手術総数	人工心肺を用いた手術	胸腔鏡下手術	腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	放射線治療	化学療法	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	認知症ケア加算	ハイリスク分室管理加算	救急医療管理1及び2	在宅患者緊急入院診療加算	退院支援加算1	退院支援加算2
高度急性期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性期	18	320	81	0	0	12	12	0	29	1	11	79	0	480	0	58	6
回復期	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	25	0	0	0	0	0
慢性期	12	13	0	0	0	0	0	0	2	0	0	30	0	0	0	0	27

機能区分	病棟数	疾患別リハビリテーション料	心大血管疾患リハビリテーション料	血管疾患等リハビリテーション料	廃用症候群リハビリテーション料	運動器リハビリテーション料	呼吸器リハビリテーション料	障害児(者)リハビリテーション料	がん患者リハビリテーション料	摂食機能療法	難病等特別入院診療加算	特殊疾患入院施設管理加算	超準重症児入院診療加算	強度行動障害入院医療管理加算
高度急性期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性期	18	719	85	116	137	317	59	0	10	58	7	0	0	0
回復期	4	125	0	41	3	82	0	0	0	12	0	0	0	0
慢性期	12	238	11	54	39	117	20	0	1	17	0	0	15	0

16

医療機能ごとにみた具体的な医療の内容（実施レセプト件数）

宇和島構想区域

※平成29年6月病院診療分

機能区分	病棟数	手術総数	全身麻酔の手術総数	人工心肺を用いた手術	胸腔鏡下手術	腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	放射線治療	化学療法	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	認知症ケア加算	ハイリスク分療管理加算	救急医療管理加算1及び2	在宅患者緊急入院診療加算	退院支援加算1	退院支援加算2
高度急性期	3	29	14	0	1	4	2	0	0	1	5	0	0	25	0	0	0
急性期	22	506	127	0	4	31	56	14	90	0	11	220	0	497	0	3	107
回復期	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	22	0
慢性期	10	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0	2

機能区分	病棟数	疾患別リハビリテーション料	心大血管疾患リハビリテーション料	管状手術	廃用症候群リハビリテーション料	運動器リハビリテーション料	呼吸器リハビリテーション料	障害児(者)リハビリテーション料	がん患者リハビリテーション料	摂食機能療法	難病等特別入院診療加算	特殊疾患入院施設管理加算	超準超重症児入院診療加算	強度行動障害入院医療管理加算
高度急性期	3	22	10	5	2	0	4	0	1	0	0	0	0	0
急性期	22	688	39	153	125	296	69	0	29	44	7	0	1	0
回復期	3	105	0	49	5	52	0	0	0	5	0	0	0	0
慢性期	10	276	0	178	35	43	22	0	0	104	0	132	43	1

17

病床機能報告(H30.7.1時点)について

＜平成29年度からの変更点＞

○2025年時点の医療機能報告を必須とする(これまでは任意)

⇒地域医療構想との連携を重視

○平成30年度診療報酬改定を踏まえた報告内容の見直し

○介護医療院の創設に伴い、退棟先の場所別の患者数の

内訳に、「介護医療院に入所した患者を把握する項目を

追加

○高度急性期・急性期に関する医療行為を明確にし、別表に

ある医療を全く提供していない病棟については、高度急性

期・急性期以外の機能を選択するよう指導

18

(別表) 平成30年度病床機能報告における高度急性期・急性期に関する医療行為

カテゴリ	具体的な項目名		
分娩	分娩(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)	—	—
幅広い手術	手術(入院外の手術、輸血、輸血管理料は除く)	全身麻酔の手術	人工心肺を用いた手術
	胸腔鏡下手術	胸腔鏡下手術	—
がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療	悪性腫瘍手術	病理組織標本作製	術中迅速病死組織標本作成
	放射線治療	化学療法	がん患者指導管理料 ⅴ及びⅮ
	抗癌性腫瘍剤局所持続注入	肝動脈塞栓を伴う抗癌性腫瘍剤肝動脈内注入	超急性期脳卒中加算
	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	入院精神療法
	精神科リエゾンチーム加算	認知症ケア加算1	認知症ケア加算2
	精神疾患診療体制加算1及び2	精神疾患診断治療初回加算(救命救急入院料)	—
	ハイリスク分娩管理加算	ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅱ)	救急搬送診療料
	観血的肺動脈圧測定	持続緩徐式血液濾過	大動脈バルーンポンピング法
	経皮的循環補助法(ポンプカテーターを用いたもの)	補助人工心臓・植込型補助人工心臓	頭蓋内圧持続測定(3時間を超えた場合)
	人工心肺	血漿交換療法	吸着式血液浄化法
重症患者への対応	血球成分除去療法	—	—
	院内トリージ実施料	夜間休日救急搬送医学管理料	救急医療管理加算1及び2
	在宅患者救急入院診療加算	救命のための気管内挿管	体表面ペーシング法又は食道ペーシング法
	非開胸的心マッソージ	カウンターショック	心膜穿刺
	食道圧迫止血チューブ挿入法	—	—
	中心静脈注射	呼吸心拍監視	酸素吸入
救急医療の実施	観血的動脈圧測定(1時間を超えた場合)	ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄	人工呼吸(5時間を超えた場合)
	人工腎臓、腹膜灌流	経管栄養・薬剤投与用カテーター交換法	—
全身管理	—	—	—